

ミクロンルブ™ 潤滑ユニット

形 MC9-01□□

部品交換要領書

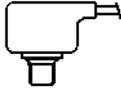
品番 MK0011、MK0012、MK0014、MK0017

品名 MC9 供給圧カススイッチ交換キット

※注意 作業開始前に、対象潤滑ユニットの作動圧／マニホールド圧とポンプの滴下頻度を記録してください。
 作業開始前に必ず、電源を遮断してください。また、装置の圧力空気を遮断・排気してください。
 分解時に、少量の油が周辺に漏れる場合があります。

《作業開始前》

同梱物の確認

① x 1 個	② x 1 個
	
供給圧カススイッチ (圧着端子配線済)	供給圧カススイッチ 取付金具

分解および組立に必要な工具、ウエス等については、お客様にてご用意ください。

必要工具：十字ねじ回し 呼び番号 2

スパナ 対辺 19mm

スパナ 対辺 16mm

圧カススイッチの設定圧力

有接点タイプ	MK0011 : 0.10MPa	MK0012 : 0.15MPa	MK0014 : 0.20MPa	MK0017 : 0.25MPa
--------	------------------	------------------	------------------	------------------

[ご注意]

この資料の記載内容は、お断りなく変更する場合がありますのでご了承ください。

本資料からの無断転載、複製はご遠慮ください。

アズビルTACO株式会社 <https://atc.azbil.com/>

2013年4月1日、TACO株式会社はアズビル TACO 株式会社へ社名を変更いたしました。

東京都板橋区高島平 9-27-9 TEL: 03-3936-2311

《分解手順》

マニホールド圧カスイッチ付きの場合

1. カバー上面の十字穴付小ねじ 2 本をゆるめて、カバーを外します。(図 3)
2. 端子台番号 3 と 4 の供給圧カスイッチ (PS) の配線を取り外します。(図 2)
3. 端子台番号 9 と 10 のマニホールド圧カスイッチ (MPS) の配線を取り外します。
4. マニホールド圧カスイッチを取付金具から取り外します。
5. 供給圧カスイッチを供給圧カスイッチ取付金具から取り外します。
6. マニホールド圧カスイッチ取付金具を本体から取り外します。
7. 供給圧カスイッチ取付金具を本体から取り外します。

マニホールド圧カスイッチが付いていない場合

1. カバー上面の十字穴付小ねじ 2 本をゆるめて、カバーを外します。(図 3)
2. 端子台番号 3 と 4 の供給圧カスイッチ (PS) の配線を取り外します。(図 2)
3. 供給圧カスイッチと供給圧カスイッチ取付金具を本体から取り外します。(図 1)
取付金具を取り外すことで、同時に供給圧カスイッチも取り外せます。

※ 取り外した供給圧カスイッチ、供給圧カスイッチ取付金具は使用しません。
産業廃棄物として各地方自治体の条例に従って適切に処理してください。

《組立手順》

マニホールド圧カスイッチ付きの場合

1. 供給圧カスイッチ取付金具②を本体に取り付けます。(図 1)
6. 分解手順で取り外したマニホールド圧カスイッチ取付金具を本体に取り付けます。
2. 供給圧カスイッチ①を供給圧カスイッチ取付金具に取り付けます。(図 1)
4. マニホールド圧カスイッチをマニホールド圧カスイッチ取付金具に取り付けます。
3. 供給圧カスイッチの配線を端子台番号 3 と 4 に、マニホールド圧カスイッチの配線を端子台番号 9 と 10 に結線します。(図 2)
結線後、取付けた配線を軽く引っ張り、端子台から抜けなことを確認します。
4. 分解手順 1 で外したカバーにカバーパッキンがセットされていることを確認し、本体に被せます。
このとき、カバーのヘコミ部の面をサイドドーム側に合わせます。
5. 十字穴付小ねじに O リング、平座金を通し、カバーの取付穴に挿入して締め付け、カバーを固定します。
(図 3)

《交換後の試験運転》

清浄な潤滑油を油槽上限まで入れて、電源、エア圧力を復帰し装置を起動します。

この際、下記項目を確認してください。

1. 圧カスイッチと取付金具、取付金具と本体の接続部から空気の漏れが無いか？
2. 供給圧力が設定圧力よりも上昇した時に、機械異常とならないか？
3. 供給圧力が設定圧力よりも下がった時に、機械異常は発生するか？

図 1

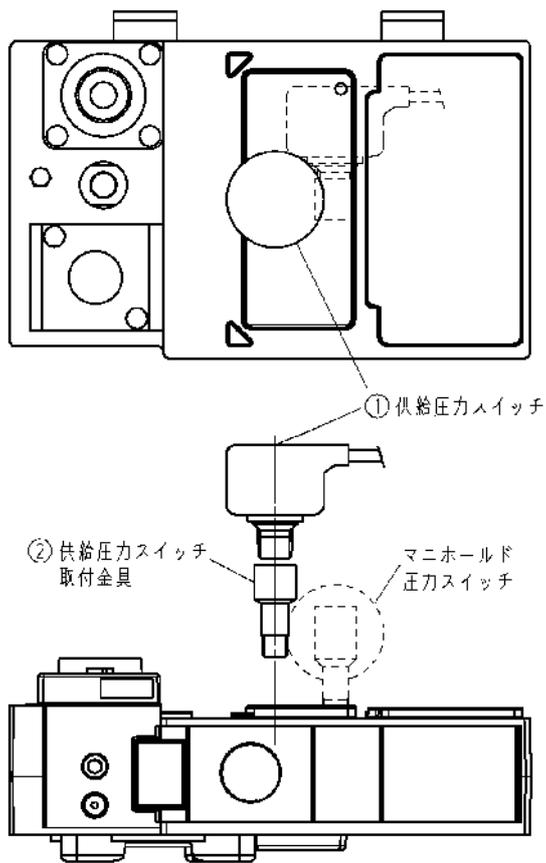


図 2

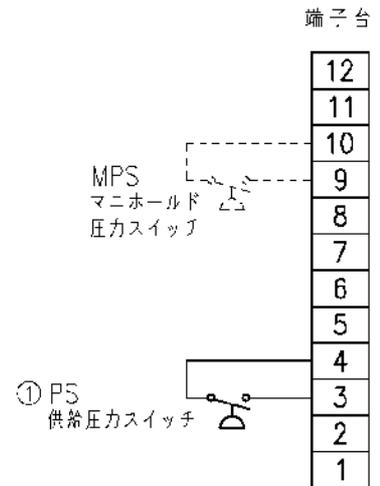
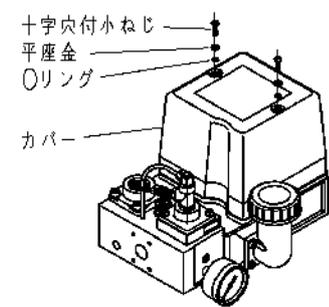


図 3



-MEMO-
